# 子育て研究 論文編 投稿者用チェックリスト投投稿資格

子育て研究 第 6 巻

投稿者用チェックリスト

子育て研究論文編

□ 論文の筆頭著者は日本子育て学会の会員であり、投

稿時、会費の未納はない。

□「日本子育て学会機関誌 論文編 執筆・投稿要領」の「2 投稿原稿」の精神に合致する論文である。

# 研究者倫理

* 投稿する論文は未発表のものである。他の学会に並行して投稿はしていない。

※ただし、各種学会年次大会での口頭・ポスター発表は除く。

※内容的に関係の深い同一著者の論文、データを一部共有する論文がある場合には、それらのコピーも同封する。

* 論文の内容および研究手続き全般において、人権を尊重し福祉に配慮した。

※方法上配慮した点は、「倫理的配慮」として本文に記述する。

* 既存の測定尺度やデータの使用、写真などの提示にあたっては、当該研究者や協力者から投稿・公刊の承諾を得た旨を記載した。
* 原稿執筆に際して、偏見のない表現を用いた。

# 論文原稿

* 原稿作成はパソコンを使用し、A4用紙縦置き・横書きとした。
* 1ページ1,200字（40字×30行）と設定し、論文題目（日本語と英文）、要約（日本語と英文）、本文、文献、資料、図と表、付記。研究のメッセージのすべてを含めて20枚（刷り上がり10ページ）以内である。

※題目の書かれたページからページ番号を印字する。

※上下左右の余白（2cm以上）および行間は十分にとる。

* 投稿原稿は「である」調で書き、常用漢字・現代かなづかいを用い、簡潔明瞭に記述した。英数字は半角文字を用いた。数字は算用数字を使用し、計測単位は原則として国際単位を使用した。

※略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には初出の時にその旨を明記する。

* 題目は、論文の内容を簡潔に表現している。

※日本語と英語の題目をつける。

* 日本語要約は400 ～600字、英文要約は200 ～ 250ワードである。

※どちらの要約にもキーワードを5語以内で付ける。

* 英文題目と英文要約は、熟達した人の校閲を経た。

※編集委員会が求めた場合には、校閲を証明する書類を提出する。

* 図表は、刷り上り本文の左右1/2幅もしくは左右いっぱいの幅に収めることを留意して作成した。
* 図と表は別紙に描き、表1、図1またはFigure 1、Table 1のように通し番号と題をつけた。図表の挿 入希望箇所を、本文原稿の欄外に朱書きで指定した。

※図の題は下部に表の題は上部に書く。写真は図に含められる。説明文はいずれも下部に記す。

※図表、写真などを他の文献よりそのまま引用する場合は、著者自身が事前に著作権者より許可を得た上で、必ず出典を明示する。

※表の注は、該当する表の下に“注”と記して、文章で述べる。

* 特定箇所への注は、該当箇所の右肩に番号を記して、その内容をページ下ないしは文末に示した。

※検定における有意水準の注は、“\*”を使って示す。

※統計などの表記については、APAのPublication Manualに準拠する。

* 研究のメッセージを記載した。

※保育者、保護者、支援者に向けて研究が示唆するメッセージを「です、ます」調を用いて平易なことばで記述する。

※文字数は400 ～ 800字とする。

* 文献リストを入念にチェックした。

※文献は、投稿原稿の末尾に著者名のアルファベット順に一括して挙げる。

※文献リスト中の著者名は、「ら」「et al..」などと省略せずに全員を記載する。

※雑誌名は省略しない。

※単行本は、著者名、刊行年次、表題、出版社名

（外国のものは出版地も記す）の順、雑誌論文は、著者名、刊行年次、表題、雑誌名、巻数、ページ数を記す。

* 文献提示の仕方は「日本子育て学会機関誌 論文編執筆・投稿要領」に則している。

# 投 稿

□投稿票には、(1)論文区分　(2)論文題目（日本語・英

語） (3)著者全員の氏名および所属（日本語・英語）

(4) 代表者の住所・電話番号・電子メールアドレス

(5) 論文ページ数〔印刷仕上がりに換算したページ

数〕(6)「要約」の文字数・ワード数およびキーワード

数　(7)「図」「表」、その他「注」などの数　(8)「メ

ッセージ」の文字数 が記入されている。

□査読用の投稿原稿（氏名・所属を削除したファイル）を

準備した。

□その他、関連論文等、必要なものをファイル化した

（※関連論文等がなければチェック不要）。

※このチェックリストにチェック（☑）をして、

論文等と一緒にメール添付にてご送付下さい。

40

（40）